

わおん

第67号

2023年1月発行

冬号

〒370-0016
群馬県高崎市矢島町449-2
駒井病院 地域連携室

TEL 027(352)6100
FAX 027(352)6217

「わおん」とは、いくつもの違う音が重なり、ひとつの美しい音を作る“和音”。
連携もこうありたいとの願いです。

新年のご挨拶

医療法人社団 醫光会 駒井病院
院長 駒井 和子



私達の日常を大きく変え、今だに収束の気配も見えぬ新型コロナウイルス感染症流行の真っ只中、三度目の新年を迎えますが、自然はうらかな満開の花咲く春をもたらしてくれます。本年こそ、のびやかな日々となりますよう心より祈念しつつ、新年のご挨拶を申し上げます。

当院が、この地に病院を開院させて頂いて四十二年の歳月が流れました。先代の志に沿って、「年をとっても安心して医療を受けられる病院」を目指してスタート致し、長い月日に渡って皆様方には沢山のご支援を頂いて参りました。

予想をはるかに超えた長寿国となった我が国は、医療提供の体制も大きく変わって参りました。医療費も大きく脹らんできて、平成十二年には医療から介護を別仕立てにと介護保険制度が誕生致しました。その流れの中、当院は医療療養病床、地域包括ケア病床、そして人工透析医療を柱とし、また介護保険制度導入とともに介護関連施設を併設し、それぞれの施設の機能と連携し合って運営致し今日に至っております。

本年も、慢性期医療の担い手となりますよう、『やさしさに出会う医療を やすらぎに出会う医療を 生きがいに出会う医療を』の当院の理念を傍らに置きながら、職員一同、医療と介護の包括的なサービスを提供させて頂いて地域に貢献してまいります。

新しい年も引き続きましてどうぞよろしく
お願い申し上げます。



新年のご挨拶

医療法人社団 醫光会 駒井病院
副院長・透析センター長 平松 範行



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年は医療法人社団 醫光会 駒井病院ならびに関連施設へのご理解とご協力を賜りまして心より御礼を申し上げます。

当院には、療養病床と包括病床があり、亜急性期から慢性期医療を担っております。また透析医療も行っております。特に高齢者医療における様々なニーズに柔軟に対応可能な病院と思います。急性期病院等で治療を行った方の中で、肺炎治療後や骨折後、手術後などに廃用症候群が進行し自宅生活が困難となった方、食事摂取が難しく経管栄養や中心静脈栄養が必要な方、認知症が原因で治療拒否や不穏で対応が難しい方など、当院での継続的長期的な治療が可能です。透析医療、内科、精神科、整形外科、薬剤管理、リハビリ、栄養管理、退院後の施設との連携、通院透析の送迎等、多職種で患者様を包括的に支援していく体制ができております。

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、不安定な情勢が続く中で医療を提供し続けることができたのは、ひとえに皆様のご理解とご協力があったからこそだと感じております。

今年も職員一同、心のこもった質の高い医療・介護を通じて地域の皆様に安心を届けられるよう尽力して参ります。新しい年も一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



のぞいて見よう 駒井病院

季節の節目のお楽しみ『行事食』

当院では、あまり外出の機会が得られない入院患者様に季節を感じていただけるよう、行事食を大小合わせて年間20回程度ご提供しています。今年も元旦から3日にかけて、新年に相応しいお料理をお出ししました。食事内容や形態は患者様の状態によって異なりますが、皆様に喜んでいただけたようでした。

患者様に特にご好評なのが、誕生日の祝膳です。お一人おひとりの誕生日の夕食に普段のお食事とは違う特別メニューを誕生日祝カードを添えてご提供し、その日は職員からも仲間の患者様達からも祝福されます。

今年も安心安全な食事提供と共に、患者様に喜んでいただけるように職員一同邁進してまいります。

栄養科 科長 春日 千江美(管理栄養士)



【お正月メニューの一例】

- ・ブリの照り焼き
- ・五色きんぴら
- ・紅白なます
- ・バナナ



【誕生日祝膳の一例】

- ・高菜ごはん
- ・まぐろのたたき
- ・ハム煮
- ・花咲き包み蒸し
- ・お吸い物

第30回 日本慢性期医療学会に参加しました。

令和4年11月17・18日に国立京都国際会館で行われた第30回日本慢性期医療学会に参加し、当院で新たに導入となった局所陰圧閉鎖療法についての症例発表を行いました。

学会においては全国の様々な病院の研究発表を聞くことができ、大変勉強になりました。今回研究発表をすることで得た知識や経験、学会で学んだことを日々の業務に生かすと共に、これからも医療の質の向上をめざして自己研鑽を積んでまいります。

病棟1階 塩原 郷司(看護師)



第30回日本慢性期医療学会 発表テーマ：

難治性褥瘡に対し局所陰圧閉鎖療法を導入し治癒に至った症例

今症例の患者様は長時間車イスで過ごす事を好み、床上でも患者自身が殿部をずらす事が多く、摩擦やずれ、創部に対する圧力が褥瘡治癒遅延の原因であると考えられました。ポケットを形成したまま、創開口部が塞がりそうになり、デブリードメントや切開を繰り返しました。局所陰圧閉鎖療法(以下MPWT)導入後、医師をはじめ、多職種連携を行い治癒に至った症例です。



【症例対象】 93歳 男性 日常生活自立度B2 既往歴：右鼠径ヘルニア 認知症 難聴

R3年3月12日 仙骨褥瘡治療のため施設より当院入院 DESIGN-R28点 1.0×0.5cmポケット6.5×5.0cm

3月25日 ポケットが広く、デブリードメント目的に転院

5月20日 デブリードメント施行後再入院 DESIGN-R14点 6.0×1.7cm

10月27日 右鼠径ヘルニア嵌頓イレウスにて転院

11月18日 右鼠径ヘルニア根治術後再入院 術後ポケット拡大 褥瘡悪化 DESIGN-R27点 2.7×1.8cmポケット3.3×3.5cm

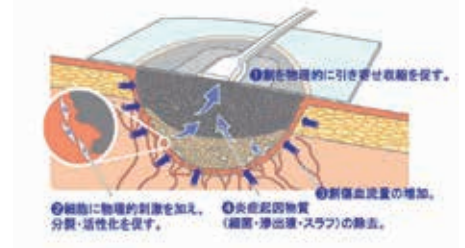


R3年11月18日

参照：創傷被覆材部会 スミス・アンド・ネフュー(株) 菅野 紀孝

難治性褥瘡により入院が長期化してしまったため、NPWTを導入

※NPWTとは、創傷をフィルムなどで密閉し湿潤環境下で陰圧を付加して創傷治癒に有害な慢性創傷の滲出液を吸い出して除去する物理療法で、2010年より保険収載され広く普及している。



【経過】



NPWT開始1日目
DESIGN-R11点
2.7×2.5cm



NPWT開始15日目



NPWT開始28日目
NPWT終了
DESIGN-R5点
0.2×0.1cm



NPWT開始37日目
治癒

特別養護老人ホームへ退院

【まとめ】

医師によるデブリードメントや栄養状態の維持、NPWT導入と同時に車椅子乗車時間の短縮、車イス移動介助、体位変換介助を行い創部のずれ防止を徹底したことが相乗効果をもたらし、より効果的な陰圧環境保持に繋がったと考えられます。当院においては今後も高齢の褥瘡を有する患者様の入院が予想されます。今回の経験を活かし多職種で連携を図り早期退院に繋げていきたいと思っております。

一般外来

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
内科	9:00～12:30 (受付12:00まで)	平松 檜原	中野	駒井 中野	佐野(敏)	檜原
整形外科	14:00～17:00	-	佐野(潔)	-	-	-

特殊外来<ご予約制> ☎ 027-329-7755(受付直通)

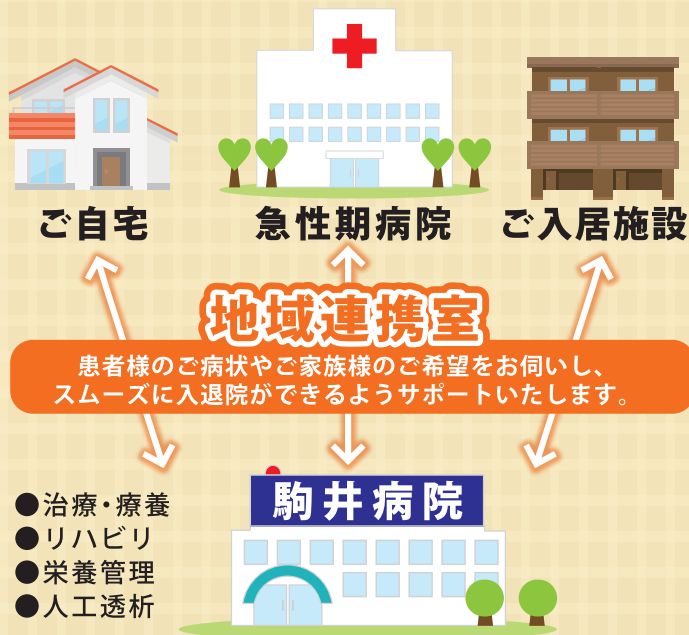
休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
腎不全外来	15:00～17:30 (受付17:00まで) ※要予約	平松	平松	-	-	-
不眠症外来		-	駒井	-	駒井	-
精神科外来		-	駒井	-	駒井	-
物忘れ外来		-	駒井	檜原	駒井	檜原

透析センター

診療科	開始時間	月	火	水	木	金	土
外来透析	午前の部 9:00～	○	○	○	○	○	○
	午後の部 14:30～15:00	○	休	○	休	○	休

地域連携室では、入院・転院のご相談はもちろん、介護施設入所・各種制度ご利用などのご相談にもお乗りしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。



地域連携室 直通番号

代表電話
よりも早い!

☎ 027-352-6100

メールでのお問い合わせ ▶ renkei@komai-hp.com



■基本理念

やさしさに出会う医療を
やすらぎに出会う医療を
そして
生きがいに出会う医療を

■基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳を大切に、患者様の立場に立った、信頼を得る医療を提供します。
2. 私たちは、高齢者医療専門機関として、誠実で安心な医療・看護・介護サービスを実践します。
3. 私たちは、社会人としての倫理観を持ち、医療の質向上のため研鑽を積み、地域や組織に貢献します。
4. 私たちは、地域の人々の支えとなる慢性期医療機関としての役割を実践し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。